

BASE Vol.46

実践的基礎知識 マクロ経済編(1) < GDPとは >

2017/04/20

GDPとは

国内総生産(GDP)とは国の経済規模を表す指標です。1年間に一国内で生産されたモノ(最終財)とサービスの価値を合計したものです。国内で生産されたモノやサービスの付加価値の合計額とも言えます。なお、GDPは「国内」経済を表す指標のため、日本企業が海外支店等で生産したモノやサービスの付加価値は含みません。

経済が成長するとは？

私たちは景気や経済成長率といった言葉をニュースでよく耳にします。そうした国全体の経済について考えるうえで欠かせない概念として国内総生産(GDP)があります。

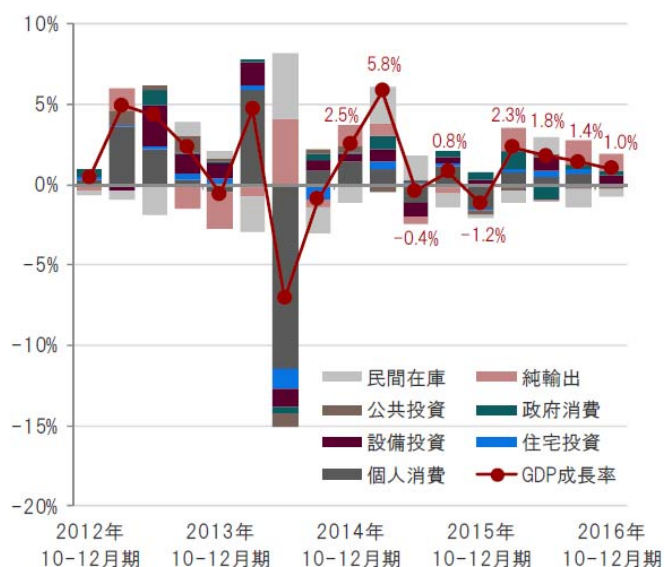
GDPは1年間に一国内で生産されたモノ(最終財)とサービスの価値を合計したものです。国内で一定期間内に生産されたモノやサービスの付加価値の合計額となります。なお、GDPは「国内」経済を表す指標のため、日本企業が海外支店等で生産したモノやサービスの付加価値は含みません。

また付加価値の合計額であるGDPの額は経済の規模を表すこととなりますので、経済規模が大きい、ということは、GDPの額が大きい、ということになります。

ではよく耳にする「経済が成長する」、とは、どのようなことなのでしょう。「経済が成長する」というのは「経済規模が拡大する」ということであり、つまりは経済規模を表す「GDPの額が増える」、「GDPが増加する」、ということです。よって経済成長率とはGDP増加率(成長率)となり、つまり、GDPが何%増えるか、ということになります。例えば、GDPが5%増えた、ということは、経済規模が5%大きくなった、経済が5%成長した、ということになります。

具体的に日本を例に見てみましょう(図表1)。日本のGDP成長率の推移を見ると4四半期連続でプラスとなっています。これはこの1年間は日本は前年比で経済が成長した、ということになります。

図表1: 日本のGDP成長率の推移(四半期、前年比年率、季節調整後、期間:2012年10-12月期~2016年10-12月期)



※GDP成長率および寄与度の直近値は速報値
出所:ブルームバーグ、内閣府のデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

当資料をご利用にあたっての注意事項等

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

実践的基礎知識 マクロ経済編(1) < GDPとは >

一国の1年間の経済活動はどのように計算するのか？

GDPは、1年間に一国内で生産されたモノ(最終財)とサービスの価値合計であり、付加価値の合計です。簡単に言うと、一国の儲け(利益)の合計です。

例で見てください。バナナ共和国という国があったとします。この共和国は漁師のAさん、魚屋のBさん、定食屋のCさん、米屋のDさんで成り立っています。ではこの国のGDPである付加価値の合計はいくらになるのでしょうか。AさんからDさんが稼いだ利益の合計となりますので、合計で15,000円となります(図表2)。

GDPが表すこと

このバナナ共和国で1年間に生み出された付加価値つまり、儲けの合計(GDP)は15,000円となりました。この15,000円は何を表すのでしょうか。

まずこの国は15,000円分、他国から何かを買ったり、お金を蓄えたりできます。つまり、この国は1年間で15,000円分、豊かになった、ということです。またバナナ共和国はGDPが15,000円ということは、15,000円分稼げる経済規模となります。

なお、GDP15,000円を人口4人で割ると、1人当たりGDPを計算できます。このバナナ共和国は、1人当たり3,750円の付加価値を生み出したことになり、また、3,750円儲けたこととなります。つまり、各人が平均で3,750円分好きなものを買える(単価500円の米を7個買えるくらい)、ということの意味します。つまり、GDPは「人口×1人当たりGDP」と表すことができます。

今回は人口の変化や、経済効率の変化による、GDPに起こる変化、(経済への影響)について、詳しくご紹介いたします。

図表2:バナナ共和国のGDP

Aさん

漁師
魚を釣って
売っています

売上: 単価100円 × 個数20個 = 2,000円

原価: 単価0円 × 個数20個 = 0円

利益: 単価100円 × 個数20個 = 2,000円

⇒利益で2,000円分何かを買えます。
(生み出した付加価値で2,000円の富を得ました。)

Bさん

魚屋
漁師から魚を買って
売っています

売上: 単価250円 × 個数20個 = 5,000円

原価: 単価100円 × 個数20個 = 2,000円

利益: 単価150円 × 個数20個 = 3,000円

⇒利益で3,000円分何かを買えます。
(生み出した付加価値で3,000円の富を得ました。)

Cさん

定食屋
魚を買ってきて
焼き魚定食を作っています

売上: 単価450円 × 個数20個 = 9,000円

原価: 単価250円 × 個数20個 = 5,000円

利益: 単価200円 × 個数20個 = 4,000円

⇒利益で4,000円分何かを買えます。
(生み出した付加価値で4,000円の富を得ました。)

Dさん

米屋
米を輸入して
売っています

売上: = 7,500円

原価: = 1,500円

利益: = 6,000円

⇒利益で6,000円分何かを買えます。
(生み出した付加価値で6,000円の富を得ました。)

個人	付加価値(利益)
Aさん	2,000円
Bさん	3,000円
Cさん	4,000円
Dさん	6,000円
合計	15,000円

バナナ共和国の付加価値合計(GDP)